

平成 30 年 9 月 18 日(火)

小・中・高等学校長 殿  
関係諸機関 各位

福岡こどもたちのセーフティネット研究会  
西日本短期大学附属高等学校  
校長 樋口 文則  
博多高等学校  
校長 綾部 和博  
希望が丘高等学校  
校長 中村 文彦  
立花高等学校  
校長 齋藤 真人

第 9 回「特別支援教育（登校支援・学習支援・生活支援・就労支援・関係諸機関との連携）に関するセミナー」の開催について（ご案内）

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ご承知のように、平成 19 年度より特別支援教育は新たな制度としてスタートし、体制整備が進められてきました。各教育機関及び関連諸機関におかれましては、その支援体制の在り方や枠組み作りに日々邁進されていることと拝察致します。

そのような中、9 年前より公私の枠を超えた貴重な情報共有の場として、主管校が中心となり毎年セミナーを企画しています。手のひらの隙間から零れ落ちてしまう子どもたちにとって、安心してできるセーフティネットの構築を願っての有志による手作りのセミナーです。

今年度も九州産業大学の全面的なご協力を得て、別掲の通り準備を行っております。特別支援教育に関心のある方々の、職種・年齢層を超えた幅広い参加を心よりお待ちしております。

尚、参加につきましては申込書に必要事項を記入の上、郵送あるいは FAX でご連絡ください。参加費は無料です。実施要綱と参加申込書は、主管校のホームページよりダウンロードできます。

謹白

問い合わせ先

立花高等学校内セミナー実行委員会

〒811-0213

福岡市東区和白丘 2 丁目 24-43

TEL 092-606-2792

FAX 092-606-2846

HP: <https://www.tachibanahs.net/>

E-mail: ths.hamamoto@gmail.com

担当：濱本 秀伸

# 第9回 特別支援教育

(登校支援・学習支援・生活支援・就労支援・関係諸機関との連携)

## に関するセミナー

— 発達障がいのある児童・生徒への支援 —

平成30年12月8日(土) 開催

## 実施要項

### 主催

福岡こどもたちのセーフティネット研究会

### 主管

西日本短期大学附属高等学校・希望が丘高等学校

博多高等学校・立花高等学校

### 協力

九州産業大学

### 後援

福岡県 ・ 福岡市 ・ 北九州市

福岡県教育委員会 ・ 福岡市教育委員会 ・ 北九州市教育委員会

福岡県私学協会 ・ 福岡県私学教育振興会

## 第9回 特別支援教育

(登校支援・学習支援・生活支援・就労支援・関係諸機関との連携)に関するセミナー

— 発達障がいのある児童・生徒への支援 —

### 実施要項

1. 主 旨
 

近年、不登校や社会的不適応の背景に発達障がいや心身症などに悩む若者が増えています。また、学習困難やいじめ、或いは家庭環境による二次障害などにより、学校教育や就職離脱の若者が増加し、今後の日本社会に大きな影響を及ぼすことにもなりかねません。このため、学校教育をはじめとして、家庭・福祉・労働・医療・社会等の広範囲な領域における連携が重要な課題となっており、理解者及び指導者の育成が急務となっています。

本セミナーでは、この問題の研究、実践及び実態に関する情報の共有や啓発を図ると共に子どもたちの健やかな成長を願い、支援するためのセーフティーネット構築を目指した学びの場となることを本セミナーの目標としています。

そして特別支援教育という幅広いテーマを基盤として、保護者・医療機関・カウンセラー・教員等、関係して支援する立場の全ての方々が互いに孤立することなく、共に手を携えていくことができるきっかけの場となることを切望しています。
2. 日 時 平成30年12月8日(土) 9:20 ~ 16:00
3. 会 場 九州産業大学 1号館 2階 S201番教室 及び 各分科会場
4. 対象者 特別支援教育(登校支援・学習支援・生活支援・就労支援・関係諸機関との連携)に関心のある教育関係者及び関係諸機関、保護者、学生 等どなたでも参加できます。
5. 申 込
  - ① 参加費 無 料 福岡県私学教育振興会助成事業
  - ② 申込〆切 平成30年11月22日(木)
  - ③ 申込方法 折り込みの申込書(各校ホームページよりのダウンロード可)に必要事項を記入の上、郵送あるいはFAXにて申し込んで下さい。  
また昼食につきましては九州産業大学の食堂を御利用下さい。
  - ④ 申込先 事務局：〒811-0213 福岡市東区和白丘2丁目24-43  
立花高等学校 セミナー事務局 担当：濱本 まで  
TEL：092-606-2792 FAX：092-606-2846

※ 当日収容人数の関係から、定員600名にて締め切らせて頂きます。

6. 日 程 8:50 9:20 9:50 12:00 13:20 14:10 14:25 15:15 15:30 16:00

受 付	開 会 行 事	基調講演	質 疑 応 答	昼食	実 践 分 科 会 A	質 疑 応 答	休 憩	実 践 分 科 会 B	質 疑 応 答	休 憩	自 由 意 見 交 換	各 分 科 会 に て	分 科 会 に て 閉 会
--------	------------------	------	------------------	----	----------------------------	------------------	--------	----------------------------	------------------	--------	----------------------------	----------------------------	---------------------------------

I . 開会行事 会場：1号館 2階 S201番教室

全体司会：希望が丘高等学校 中村 萌依 立花高等学校 大武 総太 西日本短期大学附属高等学校 尾形 えり菜

- ① 開会宣言 希望が丘高等学校 校 長 中村 文彦
- ② 記念イベント 博多高等学校 和太鼓部
- ③ 委員長あいさつ 西日本短期大学附属高等学校 校 長 樋口 文則
- ④ 来賓あいさつ 福岡市教育委員会 生徒指導課長 泉 敦哉  
九州産業大学 学 長 榊 泰輔
- ⑤ 日程説明・諸連絡 事務局

演題 困難をかかえる子どもたちへの支援の在り方 ～隠れたスペシャルニーズに気づく力～

講師 立命館大学 産業社会学部及び大学院人間科学研究科 教授 野田 正人 氏

【プロフィール】

専門：司法福祉論、児童福祉論、教育臨床論 特に虐待・非行への介入的支援、社会福祉士、臨床心理士、学校心理士

略歴：埼玉県生まれ、大阪育ち。父方祖父は福岡県瀬高町船小屋の出で満州浪人。大学で社会福祉学と心理学を学び、卒業後は家庭裁判所調査官として11年間勤務。1989年から花園大学専任講師、同助教授を経て、2000年より立命館大学教授として勤務し現在に至る。厚生労働省 児童自立支援施設あり方に関する研究委員 厚生労働省 児童自立支援施設運営指針ワーキング委員 厚生労働省 前児童虐待死亡事例等検証委員会委員(第1・2次) 文部科学省 「不登校に関する調査研究協力者会議」座長代理 文部科学省 前「教育相談の充実に関する調査研究協力者会議」座長 文部科学省 前「生徒指導要領・作成協力者・執筆協力委員」 滋賀県児童虐待防止連絡協議会会長、同措置審査部会長、重症事例検証委員長 三重県 児童福祉センター市町アドバイザー 三重県志摩市、滋賀県・湖南市・愛荘町・要保護児童対策地域協議会会長 大阪府・和歌山県教委スクールソーシャルワーカー・SV 京都市子ども若者総合相談窓口担当者スーパーバイザー 京都市・京都府 滋賀県教委スクールカウンセラー・SV 滋賀県臨床心理士会会長 他、内閣府、厚生労働省、文部科学省、自治体などの委員多数 平成17年福岡市少女監禁虐待事件検証委員会委員長

III . 分科会シンポジウム 及び グループ自由討議

第1分科会 「登校支援」

実践発表A：角川ダウンゴ学園N高等学校 入試広報部九州エリアマネージャー 萩原 裕治 氏

2016年4月にインターネットを活用し、自宅にいながら高校生活を送ることができる「ネットの高校」として開校したN高等学校。開校後に生徒の要望から通学できるキャンパスを2017年4月に東京と大阪、翌2018年4月には福岡を含め全国6カ所に開校。ネットの高校で過ごす高校生活とは？ネットの高校が作った通学コースとは？

実践発表B：岡山県教育庁 特別支援教育課指導主事(主幹) 本井 健太 氏

「岡山県における特別な支援を必要とする児童生徒への支援」岡山県では、平成30年3月に今後5年間の指針となる第3次特別支援教育推進プランを策定しました。そのプランを基に、特別な支援を必要とする児童生徒への取組についてご紹介します。

第2分科会 「学習支援」

実践発表A：東京都立 足立東高等学校 副校長 高山 庸子 氏

・エンカレッジスクール(全日制普通科)の特色ある教育課程について  
・足立東高校の10分授業・30分授業・体験学習などの授業実践や学習支援について

実践発表B：福岡教育大学特別支援教育特別専攻科 学生(前春日市立須玖小学校 助教諭) 加藤 賢昭 氏

「知的障害特別支援学級における学習指導の方法について」知的障害児教育では「領域・教科を合わせた学習」という指導方法を行うことがありますが、「領域・教科を合わせた学習」とは何なのか、私の実践事例をもとにお話いたします。また、学習指導要領改訂の概要についても触れていきたいと思います。

第3分科会 「生活支援」

実践発表A：福岡県高校生の就学継続のための訪問相談事業 高校生就学相談支援員

福岡県では、高校生が就学を継続して将来の夢や希望が叶えられるよう、高校生やそのご家族に対する訪問相談支援を行っています。家族関係、不登校、校納金の滞納など、学校や関係機関と繋がってご家族の困りごとをサポートする取り組みを報告します。

実践発表B：一般社団法人 福岡おやじたい 理事長 吉田 正弘 氏

障がい者支援の大半が母親の団体である現状で、仕事上の人脈や経験を生かしての父親だから出来る活動を行っています。一見では分かりにくい知的・発達障がいのある子どもたちを中心に、広く一般の方に対しての認知→受容→理解啓発への入口支援。団体の立上げから現在まで、草の根的な取り組みをご紹介します。

第4分科会 「就労支援」

実践発表A：大阪府立 西成高等学校 校長 山田 勝治 氏

西成高校における反貧困の学びと支援

実践発表B：NPO法人 バイルアップ サービス管理責任者 堺 光二 氏

当法人は立花高校の卒業生の就労支援を目的としています。現在は就労継続支援A型の施設として、立花高校内で「mama's cafe」を運営しております。「卒業しても社会に出れない」のではなく、「もう少し時間をかけた」方々には、「できる手段を準備」する「居場所」が必要だと考えています。

第5分科会 「関係諸機関との連携」

実践発表A：東京シュール 理事長 奥地 圭子 氏

学校に子どもを合わせるのではなく、子どもに合わせる学校を創りたい、との思いで実践してきた東京シュール葛飾中学校について語ります。フリースクールを母体に開校した私立中で、入学要件が不登校という変わった学校ですが、子ども中心の教育を行って11年、個性、集団性の高い多様な学びの在り方を展開しています。

実践発表B：非営利活動法人 よか隊 理事長 西田 尚美 氏

就労A型事業を通して学んだ、思春期の子ども達を中心に特性を活かせる支援、将来に向けての方向性を一緒に考え、社会や周りの人に必要とされる生き方について

## 実行委員会

委員長	西日本短期大学附属高等学校	校長	樋口 文則
副委員長	希望が丘高等学校	理事長・校長	中村 文彦
	博多高等学校	校長	綾部 和博
	立花高等学校	校長	齋藤 真人
顧問	九州産業大学	副学長	秋山 優
実行委員	九州産業大学	学生部係長	一ノ瀬 大一
	九州産業大学	教務部	池永 有輝
	九州産業大学	教務部	松尾 脩平
	西日本短期大学附属高等学校	教頭	牛島 洋明
	立花高等学校	教頭	片山 裕一
	公益社団法人福岡県人権研究所	事務局	峰 司郎
	西日本短期大学附属高等学校	教務部長	武田 正道
	西日本短期大学附属高等学校	3学年主任	松石 忍
	西日本短期大学附属高等学校	教諭	増永 彩乃
	西日本短期大学附属高等学校	同推担当	金子 豊
	希望が丘高等学校	2学年主任	綾部 武典
	希望が丘高等学校	教務部主事	中西 康暢
	希望が丘高等学校	総務部副主事	大輪 麻衣
	博多高等学校	教諭	上村 竜士
	博多高等学校	教諭	服部 英喜
	博多高等学校	教諭	浅山 茂輝
	博多高等学校	教諭	近藤 修平
	立花高等学校	教育相談部長	堺 光二
	立花高等学校	3学年主任・特別支援コーディネーター	岩切 大祐
	立花高等学校	教諭	松田 裕子
	立花高等学校	教務主任	松田 祥英
事務局	立花高等学校	主幹教諭・生徒指導部長	濱本 秀伸
	立花高等学校	事務長	吉田 知子

## 会場周辺地図

### — アクセス —

JR : 博多駅

鹿児島本線 上り普通 九産大前駅 下車

バス : 天神郵便局前 (18Aのりば)

(急行) 新宮・緑ヶ浜行き

天神日銀前 (19Aのりば)

(急行) 赤間営業所行き

九州産業大学南口 下車

### 九州産業大学

〒813-8503

福岡県福岡市東区松香台2-3-1

TEL: 092-673-5072 (教務部)

### 問い合わせ先

〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘2丁目24-43

TEL: 092-606-2792

FAX: 092-606-2846

セミナー事務局 : 立花高等学校 濱本

E-mail info@tachibanahs.ac.jp



# 第9回 特別支援教育に関するセミナー 参加申込書

平成30年12月8日(土)

会場：九州産業大学

※ FAXにて申し込み確認証を返信致しますので、お受け取り可能なFAX番号の明記をお願い致します。

## ◎ 個人申し込み用 (区分に○を付けて下さい。)

特別支援教育に関するセミナーに参加を申し込みます。					
お名前					
所属・勤務先		役職			
所属区分：幼稚園保育園・公立小学校・公立中学校・公立高等学校・私立学校・特別支援学校・大学短大・保護者 学生・教育機関・支援機関・行政機関・その他（ ）					
連絡先 (電話番号)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 携帯	<input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> その他	TEL:	FAX:	
希望される分科会 (□にチェック「✓」を入れて下さい。)					
希望される 分科会	1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □

## ◎ 団体申し込み用 (区分に○を付けて下さい。)

特別支援教育に関するセミナーに参加を申し込みます。						
所属・団体名						
所属区分：幼稚園保育園・公立小学校・公立中学校・公立高等学校・私立学校・特別支援学校・大学短大・保護者 学生・教育機関・支援機関・行政機関・その他（ ）						
代表連絡先 (電話番号)	<input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 携帯	TEL:		FAX:		
お名前	役職	希望される分科会 (□にチェック「✓」を入れて下さい。)				
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □
		1分科会 □	2分科会 □	3分科会 □	4分科会 □	5分科会 □

※ ご希望頂いた以外の分科会に関しましても、参加可能です。

※ 駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

※この個人情報は、本セミナーに関することのみを使用し、セミナー終了後破棄致します。

FAX番号：092-606-2846

立花高等学校

事務局 担当：濱本